



自立を促す介護と職員の働きやすさ

～デイサービスセンター渋沢の取り組み～

ご利用者が健やかに元気でいていただけることが、私たち職員の喜びです。しかし、職員自身が心身ともに健康でないと、十分な介護が提供できなくなってしまいます。デイサービスセンター渋沢では、ご利用者の自立を促す介護と、職員が働きやすい環境づくりの両立に取り組んでいます。

持ち上げない介助

職員でアイデアを出し合いながら、なるべくご利用者と職員双方に負担のかからない介助方法を実践しています。トイレ介助では、ご利用者が自然と前傾姿勢になるように、椅子を設置しました。

ひじ掛け部分につかまていただくと、介助がなくても立つことができます。そうすると、ご利用者の臀部（でんぶ）が浮くため、衣類の着脱や臀部を拭けるようになりました。今まで前方から支えていた職員の腰の負担も軽減しました。小さな工夫で大きな効果です。



家事活動

例えば、洗濯物。夕方その日一日使ったタオルやエプロンを洗濯します。皺を伸ばして干す作業をご利用者と一緒に行うとあっという間。ご利用者も職員も程よい達成感で一日を締めることができます。朝も一緒に洗濯物をたたんでスタートします。



みんなが楽しい☆イベント

クリスマスの週は、毎日バイキングを実施。作るのも食べるのも大好きな栄養士職員が、腕によりをかけて十数種類の料理を作ってくれました。美味しいものを食べることは、ご利用者様はもちろん、職員も楽しみのひとつです。



渋沢にはハーモニカ、オカリナ、エンジェルハープなど多種多様なボランティアさんが定期的に訪問して下さいます。素敵な音色に癒されるだけでなく、ボランティアさんとの交流で場もにぎやかになります。

少人数ならではのチームワーク

職員数は15名と多くはありませんので、チームワークが重要です。自身や家族の急な体調不良や行事があっても気兼ねなく休めるように、余裕をもたせた人員を配置していますが、コロナやインフルエンザの流行で欠勤者が増えた状況でも、お互い声を掛け合いながら、協力して乗り切ってきました。チームワークの良さが職員の働きやすさにつながっています。ご利用者が安心して介護を受けられるように、私たち職員は今日も笑顔でがんばります。





グループホーム渋沢のお正月



今年のグループホーム渋沢のお正月は、年始をご家族様と過ごす方もいらしたため、比較的静かでした。それでも、おせちに福笑い、そして初詣と、お正月の行事を和やかに過ごさせていただきました。

無病息災を祈って



今年の初詣は2回に分けて行きました。近くの国栄稲荷神社と少し足を伸ばして白笹神社へ。運だめしにおみくじも。

おせちと福笑いで「福来る」



お重に詰めたおせち料理をいただいたり、福笑いをしたりするなど、伝統的なお正月をお過ごしいただきました。

ご家族様へ年始のご挨拶



お正月にはたくさんのご親族が会いに来てくれました。ご本人様もとてもうれしそう。

元旦がお誕生日のご入居者様。奥様がお祝いにかけてくださいました。



三喜会のグループホーム・デイサービスセンターの日常の様子や取り組みを配信しています。よかったら、フォローお願いします！



facebook



Instagram



写真掲載についてはご本人様又はご家族様の了承を得ています。

医療法人社団 三喜会 グループホーム・デイサービスセンター 渋沢



〒259-1326 秦野市渋沢上1-13-28

TEL. 0463 (89) 5250 <グループホーム>

0463 (89) 5270 <デイサービスセンター>

(GH)



(DS)

